

No. 8

公職選挙法に関すること

意見・質問・要望等

議員の「寄付行為」について、伺う。
地域の総会でご祝儀ぐらい出せないものなのか。【桜自治センター】

当日の回答

公職選挙法で決まっているので、ご祝儀を議員が出すことはできません。議員は、もらうことも、禁止されています。

当局回答

公職選挙法第199条の第2の規定により政治家の寄附の禁止、政治家に対する寄附の勧誘・要求も禁止しています。今後も法令を遵守するよう啓発に努めます。【選挙管理委員会】

No. 9

市長に関すること

意見・質問・要望等

市長が個人の結婚式に出席するのは、公務なのか公務でないのか。
平成27年11月21日のすばらしい角田を創る協議会における表彰式での出来事だったが、代理で祝辞を述べた副市長から「市長は公務で・・」と言う話だった。【北郷自治センター】

当日の回答

個人の結婚式ですから私的です。

当局回答

市長の公務は広範囲にわたっているもので、当日も市長の代理で副市長が出席して祝辞を述べたところでありました。公務での出席の機会が頻繁にあるもので、「所要」と言うべきところを「公務」と言ってしまったものであり、今後は、日程説明の際に、「公務」か「私用」の区分を明確にしていきます。【秘書広報室】

No. 10

職員に関すること

意見・質問・要望等

クリーン作戦(2回/年)は、角田市民全員でとなっており、市役所の職員も全員参加すべきではないか。その姿勢を見せれば不法投棄防止にもつながると思うが。【西根自治センター】

当日の回答

強制はできませんが、持ち帰り検討させていただきます。

当局回答

業務命令とすれば、仕事となってしまいますので、強制的な対応はなかなか難しいと考えます。しかし、市として協働のまちづくりを進めており、市民である市職員もその趣旨に則り行動することは大変重要なことですので、引き続き、その視点に立って参加を促していきます。【総務課】

No. 11

職員に関すること

意見・質問・要望等

市職員のモラル(接客、服装、頭髪)が低下しているのではないかと。市民の模範となるべきであり襟を正すべきである。【西根自治センター】

当日の回答

平成28年2月の定例会で対応させていただきます。

当局回答

目につく職員がいたとすれば、大変申し訳ないことと思います。これまで、市職員のモラル向上に向けた取り組みとしては、服務規程の励行のほか接客に係る研修や「さわやかマナー角田」を定め実行するなど、モラルの向上に努めてきております。今後改めて、これらの周知の徹底を図るとともに、進行管理を行っていきます。【総務課】

No. 12

職員に関すること

意見・質問・要望等

角田市から初めてプロ野球選手が誕生したことから、健康のまちとして、スポーツを中心としたまちづくりをしたらどうか。全国大会で活躍したバドミントンの選手もいたが、職員の採用もそのような市民から採用してはどうか。【中島区公民館】

当日の回答

要望があったことを、当局に伝えます。

当局回答

公務員である以上、採用においては、地方公務員法が要請している競争試験及び選考による採用となることから、スポーツ等だけができることをもっての採用は難しいものがあります。もちろん、競争試験をパスし、その上での特技をもっているとする方が、選考対象となった場合には、そのことを含め人柄などをよく見ての採用を引き続き堅持していきます。【総務課】

秘書広報室において、そうした方々を「郷土の誉」として顕彰しており、対外的に本市の知名度を上げることにより、有能な応募者が増えることを期待しています。【政策企画課】

No. 13

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

かくだ田園ホールの完成で復興事業は終わったと言っているが、地区振興協議会を出している事業は何一つ終わっていない。予算も平成32年度から計上されていないようだが、せめて一番初めの事業くらいは終わらすべきだ。【東根自治センター】

当日の回答

ご意見・要望として伺います。

当局回答

国や県などから補助を受け、当初計画より早く事業が完了した事業がある一方で、土地の権利・相続関係の手続きの遅延など様々な要因により、計画通りの進捗には至っていないものもありますが、今後も各種補助などを活用し、可能な限り事業の前倒しを図っていきます。なお、平成33年から平成42年については、市内8カ所で計画しているところです。【政策企画課】

No. 14

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

まち・ひと・しごと創生総合戦略の中の、次世代成長産業の育成支援に関連して、教育と育成という観点から、今から20年程前の高山市長時代に「角田宇宙少年団」が活動し、現在のロシアに海外渡航等の実績がある。平成28年4月に、宇宙関連施設のある6都市でつくる「銀河連邦」に角田市が加盟することを機会に、「角田市宇宙少年団」の再結成をしてはどうか。今でも、「日本宇宙少年団」が活動しており、全国140余り3千人の交流も期待できる。また、角田市にあるJAXAを最大限に生かし、ビジネスチャンスと捉えて、角田市民の所得を全国レベルに上げてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

大変、貴重なご意見ありがとうございます。要望として受け止め、議会でも検討しながら、当局と進めていきたいと思えます。

当局回答

銀河連邦加盟により、角田市における宇宙少年団の再結成への移行も仄聞しています。また、JAXAとの連携協力協定を締結したことにより、子どもたちへの宇宙教育や宇宙に関する観光内容の充実を図っていきます。【政策企画課】

No. 15

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

①角田市の人口減少について心配である。人口増の方策は無いのか。【藤尾自治センター】

②消滅可能性都市に角田市は入っているが、そうならないための具体策はあるのか。【東根自治センター】

当日の回答

①人口減少対策は急務です。現在、角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定中で、この戦略により人口増に取り組む予定です。

②30年後の人口が1.5万人という予測もありますが、「角田市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、2万人を確保することを目指して議論をしています。

当局回答

平成28年1月28日に策定を終えた角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンで平成72年に目標人口2万人の確保を掲げております。そのためには、「合計特殊出生率の回復」と「純移動率の均衡」の2つの側面から取組を進めることが大切であり、自然減の回復策として「婚活イベント等による若い世代の結婚支援」や「待機児童の解消に向けた保育所の整備」等の結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援、社会減の回復策として「定住促進、角田・いらっしやいプラン推進事業の見直し」や「若者定住向け住宅地の分譲」等を併せて実施していくものです。【政策企画課】

No. 16

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

人口減少社会への対応を角田市はどのように捉えているのか。世の趨勢として人口減を安易に受け入れないでほしい。強い意思表示と実体のある角田市独自の対応策を示してほしい。【東田町公民館】

当日の回答

要望として承ります。今後、当局と協議しながら検討してまいります。

当局回答

人口減少社会は避けられない現実と捉えた上で、緩やかな人口減少と人口構造のバランス維持による持続可能な地域社会の実現を目指し、総合戦略に掲げる「移住・定住支援策」及び「子育て支援策」の積極的な実施により、平成72年に目標人口2万人の確保を図っていきます。【政策企画課】

No. 17

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

東根橋の朝夕のラッシュは一人乗りが多く、若い方も多い。市外から来られている方が角田市に住んでもらえるようになったら人口増になる。また、結婚をすると市外に移る方も多いと感じるが何か策は無いのか。【東根自治センター】

当日の回答

角田いらっしやいプラン・婚活イベント等努めていますが、今後「角田市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で対応策をしっかりとやっていきます。

当局回答

移住・定住等の推進の具体的な施策の一つに「宅地・住宅の供給による定住誘導の推進」を掲げています。この中で、土地取得要件の撤廃等を見直しを行った定住促進、角田・いらっしやいプラン推進事業や若者世帯の経済的負担の軽減を図る若者定住向け住宅地の分譲を実施するなど市内・市外両面からの移住・定住策で対応していくものです。結婚後に市外へ転出する方もいますが、角田市に定住いただけるよう、若者に魅力ある施策を数多く掲げ、総合的に事業を講じていく必要があると考えています。【政策企画課】

No. 18

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

区費(10,000円/世帯・年)の約半分は自治会費に消えてしまう。何かしたいと思っても何もできないのが現状だ。何とかしてほしい。【北郷自治センター】

当日の回答

受け賜わっておきます。

当局回答

金銭的な面の他、地域コミュニティ活動人員自体の減少など、様々な課題があるものと承知しています。単独ではなく複数の区で課題解決に取り組むなど、その解決方法を地域と共に探っていきます。【政策企画課】

No. 19

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

永年、区長をして思うことは、行政区によって戸数のバラツキが甚だしい。市全体を見直し、分割・統合して平準化すべきと思う。【新丁三区区民会館】

当日の回答

消防団の一部からも、班編成と戸数の面から、行政区に関する意見が出ていますので、様々な角度から、現実的な検討をしていきます。

当局回答

行政区域については、地理的・歴史的背景などもあることから、行政区域の変更については、区からの要望が必要と考えます。【政策企画課】

No. 20

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

高齢者が増えているものの、老人会は減っている。地区のコミュニティ活動を高めようとするればそれなりに金もかかるので、市はもっと予算を割いてほしい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

要望として承っておきます。

当局回答

地域コミュニティ活動の低迷が金銭的な面だけでは無いと思われるので、その根本原因を探り、解決できるよう、コミュニティ活動の活性化を支援していきます。【政策企画課】

No. 21

まちづくり・地方創生に関すること

意見・質問・要望等

藤尾地区内には、もう養蚕農家はいないが、まちの活性化にシルクを活用してはどうか。【藤尾自治センター】

当日の回答

要望として、当局に伝えます。

当局回答

シルクの活用については、以前、繭ブローチがありましたが、伝承者がいなくなり、今は途絶えてしまっている状況です。【政策企画課】

No. 22

定住促進に関すること

意見・質問・要望等

定住促進、角田・いらっしゃいプランについて、譲渡された土地などでは、プランに該当しないという事案があったと聞いている。せっかく移り住んでくれる人のことを大事にするために、制度的に見直し、補助対象者を増やすべきだ。【北郷自治センター】

当日の回答

平成28年度に向け制度的見直しをしていく予定なので、ご理解いただきたいと思います。

当局回答

平成28年度より行う定住促進、角田・いらっしゃいプランにおいては、これまでの土地取得要件を撤廃すると共に、空き家をはじめとする中古住宅の改修補助を新たに創設し、補助対象者を増やしていきます。【政策企画課】

No. 23

定住促進に関すること

意見・質問・要望等

定住促進、角田・いらっしやいプランは成果が出ているのか。【藤尾自治センター】

当日の回答

定住促進、角田・いらっしやいプランについては、それなりの成果があると思いますし、来年度より成果の上がるプランに見直す予定です。

当局回答

○直近の成果(交付件数及び定住人員)

平成26年度:43件、159人

平成25年度:64件、235人

平成24年度:51件、172人

○平成28年度より行う定住促進、角田・いらっしやいプランにおいては、これまでの土地取得要件を撤廃すると共に、空き家をはじめとする中古住宅の改修補助を新たに創設し、補助対象者を増やしていきます。【政策企画課】

No. 24

定住促進に関すること

意見・質問・要望等

空き家対策について、空き家を調査して、使えるようなところはリフォームして、活用してはどうか。また、ゴミ屋敷や火災が心配である。【藤尾自治センター】

当日の回答

空き家対策については、現在、市内の空き家を調査して取りまとめしているところです。個人所有ということもあり、今後どのように活かせるかは検討が必要です。ゴミ屋敷等も対策を講じるよう要望していきます。

当局回答

平成28年度より行う住宅取得支援補助(いらっしやいプラン)において、空き家をはじめとする中古住宅の改修補助を新たに創設いたします。また、既に取り組んでいる空き家の賃貸・売買情報を発信する「空き家バンク」の仕組みについて、更なる市民への周知に努め、空き家の有効活用を目指します。【政策企画課】

空き家等の対策については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、「所有者等に第一義的な管理責任」がありますことから、衛生上有害となる恐れのある状態にある場合、市から所有者等へ適切な管理をしていただくよう働きかけていきます。

また、空き家の火災予防については、消防署等関係機関と連携し、空き家の所有者へ火災予防上必要な措置を講じていただくよう働きかけていきます。なお、角田消防署では、空き家のパトロールを随時実施しています。【生活環境課】

No. 25

地域交通・デマンド型乗合タクシーに関すること

意見・質問・要望等

デマンド型乗合タクシーについて、例えば、角田市でレンタカーや車を1台購入して、シェアリングできないものなのか。運転できずに困っている地域やシルバー人材センターなどからドライバーを募り、制度や保険などの責任体制を整備するなども含め、議会として検討してほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

全国にはデマンド型乗合タクシーなど取り組んでいる事例もありますので、この件も含め持ち帰り検討します。

当局回答

カーシェアリングの導入については、先進事例を調査・研究し、本市での導入の可能性を検討いたします。【政策企画課】

意見・質問・要望等

- ①デマンド型乗合タクシーについて、毎回、意見・要望が出ている。また、市長のまちづくり懇談会の席上でも答弁がなされており理解はしているものの、昨今の高齢化や核家族化に伴い、病院へ通うための手段として角田市から引っ越された事例が出てきた。定住人口の減少や増加対策を考えるならば、それらの変化に対応できる取り組みを図ってほしい。【横倉自治センター】
- ②デマンド型乗合タクシーによるみやぎ県南中核病院への乗り入れを、午前、午後とも各2本とするなどの運行をしてほしい。タクシーを利用して1回の通院のために往復すると1万円程度かかるため、経済的負担が大きい。【東田町公民館】
- ③デマンド型乗合タクシーの中核病院までの乗り入れについて、4～5年もたつて継続調査事項とはどうなのか。【桜自治センター】

当日の回答

- ①平成27年12月定例会の一般質問でも議論をいたしました。現状では地元の民間交通機関との折り合いで、調整がつかないとのことでした。また、構成する他町においても同様の問題が話し合われており、当市と同じような状況であります。なお、今回も要望がありましたので、持ち帰りまして、再度検討を図りたいと思います。
- ②デマンド型乗合タクシーのみやぎ県南中核病院への乗り入れは非常に難しい問題です。角田市、大河原町双方のタクシー業界の民業圧迫になることや、みやぎ県南中核病院からも困難であるとの回答がありました。
- ③みやぎ県南中核病院への乗り入れは、一部の市民の方から要望があります。近隣の大河原町との協議をしながら進める問題であります。大河原町の地域公共交通会議で審議された結果、民業圧迫となることを理由に否決されたとのことでした。現在は、頓挫している状態です。

当局回答

みやぎ県南中核病院など、市外へのデマンド型乗合タクシーの乗り入れについては、地元タクシー会社の民業圧迫となることから、大河原町の地域公共交通会議で審議した結果、否決されたようです。また、デマンド型乗合タクシー導入の主旨が、地元商業の活性化であることから、高齢者福祉タクシー券の交付金額の増額などの他の手法による側面支援を検討せざるを得ない状況です。【政策企画課】

意見・質問・要望等

人口増への対策として、通勤・通学時間帯の阿武隈急行の本数増を求めるなど、交通の便を向上させれば、特に仙台市への転出増を抑えられるのではないかと。【街なか交流サロン「ひだまり」】

当日の回答

阿武隈急行の本数増がすぐさま転出増に歯止めがかかるかは分かりませんが、人口減少はもっと根が深い課題であると認識しています。故郷が廃れないように、ご家庭内での教育も含めて、郷土愛を育み、町を自分達の手で守り繋ぐ意識の醸成が必要であると考えています。

当局回答

仙台駅への直接乗り入れ等については、以前、検討したところ、JR側で入り込める余裕がないことから難しい結果となっていました。沿線市町と共に、阿武隈急行のさらなる利便性の向上に取り組むほか、住宅取得支援補助(定住促進、角田・いらっしやいプラン)や子育て支援施策の充実など、あらゆる施策を講じて人口減少の抑制に努めていきます。【政策企画課】

No. 28

ふるさと納税に関すること

意見・質問・要望等

ふるさと納税が1億円を超えたようだが、農作物をもっと利用すべきだ。【東根自治センター】

当日の回答

当初300万円の予算でした。電子申し込みやアイリスオーヤマの家電製品を加えたことにより、急激に伸びました。今後も工夫をしていくものと思います。

当局回答

返礼品については、農産品・農産加工品と誘致企業製品とのバランスを図りながら対処していきます。【政策企画課】

No. 29

ふるさと納税に関すること

意見・質問・要望等

①角田市の「ふるさと納税」への取り組みについて伺いたい。【新丁三区区民会館】

②ふるさと納税について教えてほしい。【藤尾自治センター】

当日の回答

①インターネットでのクレジット決済を取り入れたり、返礼品にアイリスオーヤマの家電製品を加えたことなどから申し込みが急増しています。

やり方次第で伸びしろのある制度であり、当局には、積極的に取り組むよう提言しています。予算不足で実行できない事業等に大いに役立てるべきと思います。

②ふるさと納税については、平成26年度は300万円程度でしたが、平成27年度はインターネット決済を可能にしたことと、返礼品を農産物だけではなく、アイリスオーヤマの家電製品も加えたことにより、約1億円に増加となりました。

ただし、これを継続させるためには、家電製品でのリピーターはあまり望めないことから、今後の対策をもっと検討していかなければならないと思います。

当局回答

取り組み状況については、議員回答のとおり平成27年10月16日から寄附者の利便性向上のため、クレジット決済を導入したことに伴い、業務の一部を専門業者に委託したことなどから事務の効率化が図られ、さらに家電製品をなど返礼品のラインナップを拡充したことにより、平成27年度は寄附件数及び寄附金額ともに大幅な増加となりました。今後はさらに、農産物・農産加工品等を中心に返礼品を充実させ、寄附金額の増収を図ります。【政策企画課】

意見・質問・要望等

- ①旧角田女子高跡地の払い下げを要望してはどうか。【中島区公民館】
- ②旧角田女子高跡地の利用方法として、介護施設とするのはどうか。県の所有となっていることは承知しているが、中長期的な視点に立ち活用方法を市として働きかけを行ってほしい。【東田町公民館】
- ③ 中島下・新中島北地区には公園がない。お金がない中で作れとは言わないが、子ども達の遊び場の確保の面から、旧角田女子高のグラウンドを使えるよう県と協議してもらえないか。旧角田女子高については、除染した土のうが埋設されているので、県と協議して、セシウムの値を定期的に測定し、利用者や地域住民に知らせるなど安全面の周知も必要だ。
また、中島保育所のグラウンドを貸してもらえないかと交渉したが、衛生面などの諸般の事情で断られた経緯もある。
近くに使い勝手のいい施設がありながら、利用できないのは理不尽である。県との協議も含めて、市当局で対策を講じてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

- ①当局に伝えます。
- ②県に対してどのような方向で検討しているのか当局を通じて確認を求めます。あれだけ広大な土地と、校舎跡地が再利用されないことは勿体ないことであり、地域の安全管理上も好ましくないと認識しています。
- ③要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局回答

この件につきましては、現在も施設の一部を角田高校の運動部の生徒がクラブ活動などで使用しているとのこと。平成26年度、今後のことについて県教育委員会と角田高校に問い合わせたところ、学校施設として利用しているので未定とのことでした。市としては、継続して県との連絡を密にし、方向性を見出していきたいと考えています。【政策企画課】

意見・質問・要望等

市債の発行状況はどうなっていますか。【桜自治センター】

当日の回答

市債は、大まかに言って、一般会計の1年分くらい、約120億円くらいあります。大きな事業の返済のピークは平成34年頃になります。

当局回答

一般会計の平成26年度末の市債残高は125億3,937万8千円となっています。
平成27年11月16日に開催された角田市議会全員協議会でも市債残高の推移を説明していますが、現在の長期総合計画どおりに事業が進捗した場合、今後のピークは平成29年度で、約145億円を見込んでいます。
また、元利償還金の返済のピークは平成40年度で約13億円と見込んでいます。【財政課】

意見・質問・要望等

これまで、かくだ田園ホールや角田市学校給食センターの建設など大型事業に取り組んできた。さらに、道の駅建設となれば、借金(地方債)の額も大きくなると思うが、人口減少・高齢化・地元企業の人員整理などを考えると、財源の確保について将来大丈夫なのか心配である。

市道の整備など要望しても『金がない』ということで、要望が受け入れられないケースも多い。小田地区に限って言えば、小田小学校跡地利用について要望しているが何の計画にも載ってこないし、踏み込んで質問すると『お金がかかる』との回答である。財政見通しについてももっと分かり易く市民に説明いただきたい。

議員は、その財政面について道の駅建設と絡めどのように考えているか。【小田自治センター】

当日の回答

市当局は、平成27年2月定例会で、平成27年度当初予算を審議する中、道の駅建設関連予算を、『財政見通しに対する不安等』の議会の声をうけ取り下げた経緯があります。

その後、市長から議会に対し配付資料(P69～P70)のとおりのお返事を得ております。議会での道の駅建設の賛否については、市民との角田市議会一般会議を行うなど広く市民の意見をいただく機会を設け判断していきたいと思っております。

当局回答

平成27年11月16日に開催された角田市議会全員協議会において、「角田市長期総合計画平成27年度実施計画」に合わせて、平成28年度から平成30年度までの3か年の財政の見通しを表す「財政計画」を説明しています。

この3か年には、「賑わいの交流拠点施設整備事業」や「保育所整備事業」などの大規模事業を見込んでおり、これらの大規模事業が終了する平成30年度末において、角田市の貯金である財政調整基金の残高は10億円以上を確保できる見込みで、角田市の財政調整基金の適正規模である8億円を上回る予定です。【財政課】

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際、宮城県全体で特別警報が発令された。これに対しどのような措置をしたのか。小田川が冠水し通行止めになったが、情報提供がなかった。【野田生活センター】

当日の回答

安全・安心メールに登録している方には連絡が届きます。今のところ、個々人に届く方法はありません。

角田市として危険箇所を掌握しており、消防団や区長さん方と協力して、早めに連絡するようにしています。

当局回答

大雨特別警報とは数十年に一度の大雨となる恐れが大きく重大な被害が起こる可能性が高まる時に発表となります。

当時、大雨特別警報がはじめて発表となりましたが幸いにして、当市は小田川で避難判断水位まで、阿武隈川ではん濫注意水位まで上がりましたが、それ以上上昇しませんでした。野田地区等に避難勧告を発令し、その他の地区には避難準備情報を発令しました。

伝達方法としては、夜間でしたが「広報車による広報活動」、「一部戸別訪問による広報」、「安全・安心メール」、「市のホームページ」、「緊急速報メール」、「区長へ電話連絡」等による広報活動並びに12施設の避難所を開設した結果、236人が避難してきました。

冠水による道路の通行止めについては、市内の多くの箇所で発生することから、最初に通行止め標識の設置を行います。市ホームページへの掲載は少し時間がかかりますが、今後改善をしていきたいと考えています。【防災安全課】

No. 34

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際、野田地区には広報車が回ったが、鱸沼の地域は回っていない。野田地区住民は避難をしたが、鱸沼の方は分からなかった。【野田生活センター】

当日の回答

個別に安全確認しながら、広く知らせることが必要だと思いますが、どのようにお知らせするかを住民の皆様の意見を聞きながら、当局に要望していきます。

当局回答

市広報車による広報活動としては、4つに班編制をし、町田、野田前、長瀬、鱸沼地区を戸別訪問により広報を行いました。もし回っていないとのことでしたら、抜けた可能性があります。または、道路が冠水し住宅まで行くことができなかつたのかもしれない。しかし、できる限りの広報活動を行いました。

今後、広報には万全を期するよう努力いたします。【防災安全課】

No. 35

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際、区長の方々にFAXで情報が届かなかったのはなぜか。【東根自治センター】

当日の回答

当局に確認します。

当局回答

災害時は安全・安心メール、緊急速報(エリア)メール、ホームページで市民の皆様へ情報発信を行いました。

なおFAXを使用し区長へ情報発信すべきでしたが、災害対応で手が回らない部分がありましたので、災害時の作業分担の見直しを図っていきます。【防災安全課】

No. 36

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨で区長達は、夜・雨の中出動したが、市からはヘルメットと腕章だけが貸与されているが、さらに、雨具等装備の充実をお願いしたい。【東根自治センター】

当日の回答

要望として伺います。

当局回答

この件につきましては、予算審査特別委員会総務財政分科会におきまして同様の質疑がありました。行政区長が夜雨の中、自分の雨合羽を着て災害活動していると、不審者と間違えられる等の問題があるので雨合羽を支給できないかとのことでした。

この件については、雨合羽の貸与に費用がかかること、年間数回しか使用しないこと等のほかに、夜間の雨の中でも行政区長とわかる装着物がないかなど、行政区長の皆様と必要性も含めて相談したいと考えています。【防災安全課】

No. 37

防災に関すること

意見・質問・要望等

災害は、平日の日中だけに発生するわけではない。対応はどうなっているのか。【東根自治センター】

当日の回答

気象情報などにより予測がついているときは、職員が事前に登庁し対応しています。災害対策本部は、1号～3号配備まで有り、3号配備は全職員で対応します。

当局回答

角田市災害対策本部運営要綱の中で職員の非常配備体制が定められていますので、平日はもちろん夜間、祝祭日等の災害発生時にはいつでも災害対応できる職員体制となっています。【防災安全課】

No. 38

防災に関すること

意見・質問・要望等

広報かくだの平成27年10月号の市長日誌に、平成27年9月関東・東北豪雨により避難準備情報が発令され、市民センターに避難者22人とあるが、市民センターは水害の避難場所に指定されていないはずだが、それでいいのか。【中島下区民会館】

当日の回答

持ち帰り、担当課に伝えます。

当局回答

ご指摘のとおり、平成26年3月に作成した角田市地域防災計画では浸水想定区域内にある避難所等については水害時の避難先としては入れてありませんでした。

その後、浸水想定区域外にある避難所等の数が少ないことから、計画が一部見直され、降雨量や浸水状況により浸水想定区域内にある避難所等も使用することとしました。

今回の水害時は、避難人数が少ないことが予想されました。また、大雨特別警報が県内に発表になりましたが、当市の降雨量と河川水位が危機的状況でなかったことから、畳の部屋があり、暖房も使用できる市民センターや自治センター等を避難所として開設し、収容しました。

当然、降雨量、水位が上昇し、その避難所が危なくなる場合には浸水想定区域外の別の避難所等への移動も考える必要があります。

【防災安全課】

No. 39

防災に関すること

意見・質問・要望等

一般質問で、洪水対策が議論されていたが、それで終わらせることなく議会として洪水対策に取り組んでほしい。【東根自治センター】

当日の回答

要望として承りますが、ハザードマップ作成時にもご意見としてお出しください。

当局回答

角田市は阿武隈川が市中央部を貫流しており、周囲を山に囲まれた平坦地という地形なので、水害に対する防災対策については、特に綿密な計画と実効性を持った減災対策が必要です。

今後、行政機関のみならず市民のご意見を取り入れ、自助、共助、公助の精神を大切に、防災対策を推進していきたいと考えています。【防災安全課】

No. 40

防災に関すること

意見・質問・要望等

平成27年9月関東・東北豪雨の際に小田川が増水し、大原堤防を越水した。今後、同じような大雨が降った際、市街地に流入する恐れがあるので対応してほしい。【中島区公民館】

当日の回答

調査して対応するように、当局へ要望します。

当局回答

当該地区は、宮城県が管理する小田川からの越水により地域の水田が浸水する箇所です。当該豪雨時には大原堤防と言われる箇所からの越水がありました。

将来、過去を上回る大雨が降った場合に危惧されるのが、内水と小田川からの越水により水田へ浸水し、さらにそこから市道大沼西堤防線への越水、そして破堤による大原地区への流入です。さらにそれが進めば角田字館下・南地内等の市街地における洪水の発生が危惧されます。市といたしましても、この問題を重く受け止め宮城県や関係課等と協議検討を更に進めたいと考えています。

今後の大雨時の対応としては、パトロールを強化し、異常があれば早期対応を講じます。【防災安全課】

No. 41

意見・質問・要望等

明治23年8月に堤防が決壊し、諏訪で1m50cm、西町で2m50cm、島中瀬で3m50cm、水が上がった。避難場所が台山公園と指定されていても、絶対に行けない。よく考慮してほしい。【桜自治センター】

当日の回答

要望として、担当課にお伝えします。

当局回答

平成18年3月に作成した角田市洪水ハザードマップでは、桜地区の皆様は台山公園方向への避難矢印がありました。雨の中の避難というと距離もあり自動車を使用しなければならず、交通渋滞が心配されます。浸水想定区域以外の所には指定避難所はそう多くはありません。一方、高層建物を最初から指定避難所等にとすると、多くの避難者が生じた場合、収容しきれなくなり、また孤立の危険性もあります。高層建物はあくまでも緊急避難場所として計画し、逃げ遅れの避難者の避難場所として考えた方がより安全性があります。

桜地区は、近くに高台がないことから、他地区よりも早めの避難行動をとる必要があります。避難経路についてもそれぞれの家によって通れる道、通れない道が水位によって違ってきますので、自分で調べ避難経路を2～3路線を計画しておくことも大切かと思えます。できれば同じ地形、地域に住んでいる方々で計画を作ってみてはどうでしょうか。その計画を自主防災組織の中で活用することができればより良い計画となると考えています。【防災安全課】

No. 42

防災に関すること

意見・質問・要望等

災害復旧に土のう袋を使用するが、1、2年でだめになってしまう。応急処置ではあるが、ある程度、耐久性のあるものにすべきではないか。【西根自治センター】

当日の回答

承ります。

平成27年9月関東・東北豪雨の際、西根地区より陳情書が提出されていました。また、平成27年12月に行われた第380回定例会で災害復旧事業の予算を承認しています。

災害箇所の復旧工事の工期については、区長に説明するよう担当課に伝えます。

当局回答

災害時の応急対応の土のう袋は、緊急的な応急対策であり、短期用として使用しますので、単価が安く取り扱いやすい薄めの袋で、耐久性は余りありません。【防災安全課】

災害復旧用の土のう袋は、ソイル土のうや植生土のう等の耐久性のある材料を使用しています。【土木課】

No. 43

防災に関すること

意見・質問・要望等

各地区にある防災設備・備品について、高齢化の影響もあり、いざという場合に使うことができない。市職員を各地域担当として割振り、万が一の際に援助してほしい。【東田町公民館】

当日の回答

要望として承ります。今後、当局と協議しながら検討していきます。

当局回答

平成27年12月に指定避難所となる小・中学校、自治センター、市民センター等22施設に市職員を各2人、合計44人を配置するとともに、避難所開設・運営方法や発電機の取り扱いについての研修会を開催しました。また、年2回、避難所に設置してある防災倉庫の点検も実施することにしています。今後、市職員の配置施設を少しずつ増やしていきます。さらに、防災倉庫に保管してある非常用資機材についても、計画的に配置整備していきたいと考えています。

障害者や高齢者等の要配慮者が指定避難所で生活が困難な場合に市内の福祉施設、約10数カ所を福祉避難所として利用できるよう、施設管理者等と協定を締結することで進めています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

①総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)作成に際し、避難場所を行政区単位で指定(例えば、高畑南は角田高校など)してほしい。
また、土砂崩れの恐れのある場所は避けること。トイレ等の問題など、きめ細かな配慮が必要だ。【中島下区民会館】

②新中島南・新中島北・中島下・高畑南地区の避難場所は、旧角田女子高が最適と考える。県と協議して是非とも認めてもらえるように要望する。【中島下区民会館】

当日の回答

①要望として受け止め、担当課に伝えます。

②阿武隈川沿いの地区については、水害問題が最重要と思っています。議会としても検討しながら、当局に要請していきたいと思ます。

当局回答

避難所等の選定について、貴重なご意見ありがとうございます。各行政区単位、場合によっては地区単位でそれぞれに適した避難所等を選定しなければならないと考えています。角田地区、桜地区、北郷の一部地区、枝野の一部地区においては、大規模な洪水や地震発生時には一時期に1万人以上の避難者が出ることも予想されますので、台山公園や神次郎運動公園の2カ所では対応しきれません。大変難しい問題ですので、今後それぞれの地区の方々と市と関係機関等で協議し、各地区に適した避難経路と避難所等を決めたいと考えています。

ご承知のとおり、旧角田女子高は、東日本大震災時には重要な業務のため使用されました。しかし、避難所として整備するにはいろいろ問題があります。耐震性の問題、内装の改修、管理等を改善しなければなりませんので、市としては同地区の皆さんの避難所等を別の所に考えています。

ご指摘のとおり避難所等の開設にあたっては、二次災害の危険性のない所を選定しなければなりません。また、現在小・中学校や自治センターに防災倉庫、非常用資機材及び非常用トイレ等の設置・整備を進めています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

新しく区長になられた方にFAX機は貸与されたのか。また、区長を辞められた方のFAX機はどうしたのか。【東根自治センター】

当日の回答

当局に確認します。

当局回答

新しく区長になられた方につきましては、事前にFAX機の有無について照会させていただき、お持ちでない方に貸与しています。

区長を辞めた方のFAX機につきましては、回収させていただきました。【防災安全課】

意見・質問・要望等

東根は阿武隈川で分断され、西小坂は離れています。行政区に情報が等しく伝わるようにしていただきたい。【東根自治センター】

当日の回答

伝達方法を確認します。ハザードマップを作成する時に、地域の方々のご意見をお聞きしながら作っていくようですので、その際にもご発言ください。

当局回答

市内の93の全行政区に対して災害情報伝達をすることとしています。しかし、例外として土砂災害警戒情報や洪水による避難情報については、該当しない地区に情報を発令しない場合がありますのでご了承願います。【防災安全課】

意見・質問・要望等

- ①異常気象が発生する中、災害に適した新しい阿武隈川洪水ハザードマップを早く作ってほしい。それに基づき、高台の無い枝野地区の避難場所、避難経路を考え直すべきではないか。【枝野自治センター】
- ②桜地区は、阿武隈川の近くで、堤防決壊が心配だ。この地区は、避難場所が台山公園である。決壊した場合、逃げようがない。堤防が完成形態になっていない。避難方法、堤防を見直してほしい。【桜自治センター】
- ③防災情報の周知方法に関して、継続調査事項(4)の洪水時のハザードマップ作成及び避難場所・避難経路等の市民への公表が重要と考える。それらを含めた総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)を早急に作成し、平成27年度中の配布を目標に進めてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

- ①ハザードマップは、現在、国土交通省において作成中で、平成28年中には配布できる予定です。非難所は枝野小学校が予定されております。早い非難が最善であり避難所の早期開設、迅速かつ正確な情報の提供できるよう今後も協議していきます。
- ②要望として、担当課にお伝えします。
- ③議会としても、総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)早期作成が必須と考えています。要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局回答

洪水ハザードマップについては、国土交通省が現在、見直し中の浸水想定区域図を作成しています。浸水想定区域図の完成(公表)は平成28年度の出水期頃を予定しているとのことなので、その区域図を基に地区民の皆様の意見を聞いた上で、当市に合った洪水ハザードマップを作成したいと思いますので、平成28年度末ぐらいに各家庭に配布できると考えています。

枝野4・5・6区や桜地区等は、阿武隈川に近く、また高台が近くにないことから水害に対しては特に注意し、他地区よりも早めの避難行動をとる必要があります。避難経路についてもそれぞれの家によって通れる道、通れない道が水位によって違ってきますので、自分で調べ2～3路線を計画しておくことも大切かと思えます。できれば同じ地形、地域に住んでいる方々で計画を作ってみてはどうでしょうか。その計画を自主防災組織の中で活用することができればより良い計画となると考えています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

災害時や防災関連の情報伝達手段として、ラジオの利用を考えてもらいたい。【新丁三区区民会館】

当日の回答

災害時に自動的にスイッチがオンになる防災ラジオを取り入れている自治体もあり、議会でも視察していますが、かなりの予算が必要であることから、実現には時間がかかると思います。

当局回答

岩沼市が株式会社エフエムいわぬまと「緊急放送協定」を締結し、防災ラジオを開局しています。これを開局するためには、緊急放送との連携システムの構築、そして新たにFM局を開局することが必要となります。これには放送局開設費用、資機材整備費用等、さらにアナウンサー、スタッフの person 費及び放送局の運営、維持管理費等に多額の費用がかかることから現時点では防災ラジオの整備は難しいと考えています。【防災安全課】

No. 49

防災に関すること

意見・質問・要望等

かくだ田園ホールなど、箱物を作る際は水害などに備えるためのヘリポートの設置や、ゴムボートの準備など、きめ細かな対応が必要だ。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局回答

ヘリポートの設置については、市民センター改修工事の設計段階から計画には入っていませんでした。建物の屋上にヘリポートを建設するとなると建物の主要構造部を強化したり、周辺の高い建物や樹木等も考慮しなければならないと思われます。県内の状況としては、避難所となる市民センター等とヘリポートを兼ね添えた施設は見当たりません。その理由は、建設工事費やヘリコプターの離着陸における規制等があるため採用されていないと推察します。

当市には現在指定ヘリポートとして、多目的運動場及び仙台河川国道事務所角田出張所になっています。

ゴムボートの配備については、以前に議員からもボートの配備要望等がありましたが、現時点ではその整備計画はありません。理由としては、堤防が決壊し濁流が流入した時にゴムボートやボート等での救出及び搬送は極めて危険な作業となります。船外機をボートに取付け操作する場合は、船外機の免許も必要であり、また日頃の操作訓練をしなければ、異常出水時の操作は大変難しく二次災害の発生が危惧されます。市としては、そのような事態が発生した場合、消防署又は自衛隊船岡駐屯地へ出動要請し救助等を求めます。船岡駐屯地には50艘ぐらいの船外機付ボートを所有しています。

市役所の防災倉庫には毛布、備蓄用食料、紙おむつ等を保管してあります。【防災安全課】

No. 50

防災に関すること

意見・質問・要望等

配布資料(P67)の「アパート等への防災情報の周知方法について」の市長の回答は、の「自主防災組織との連携が可能な部分についても、連携を進めてまいりたい」とあるが、平成27年9月関東・東北豪雨の災害情報の例もあり、もっと小まめに、かつ、強力に取り組んでもらいたい。【横倉自治センター】

当日の回答

防災情報の周知については、総務財政常任委員会の席上で小まめな情報の提供を行うように申し入れを行っていますが、水害情報に留まらず、土砂災害危険情報の周知徹底などを図るように、当局に対し再度申し入れを行います。

当局回答

防災情報の周知について、アパート等に住んでいる方に対し、市役所からの連絡事項や避難勧告等の情報を伝達しようとしても、どなたが住んでいるか分からないために、自主防災組織の伝達だけでは対応しきれない部分もあると考えられます。

この問題を解決するには、住人一人ひとりの防災意識の高揚を図ることも重要です。例えばアパートの大家さんを通じて事務連絡や防災訓練への参加を呼びかけてもらう等の検討も必要かと思えます。

防災情報の周知に関しては、安全・安心メールの登録、アパート等の近くを消防車がサイレンと拡声器により避難勧告等を呼びかけること、そして市職員による戸別訪問による伝達が、より確実な周知方法であると考えています。【防災安全課】

No.51

防災に関すること

意見・質問・要望等

5年前の3・11の時、ガソリンが少なく防災指導員の仕事に支障をきたし、市役所に券を申請したが受け付けてもらえなかった。指導員証を窓口で破いて帰って来た。【東根自治センター】

当日の回答

今後の対応について検討すべく当局に伝えます。

当局回答

震災によるガソリン等の不足については、角田市として初めての経験となりました。当時の状況としては、皆様も経験したとおり、ガソリン等がいつ入ってくるかわからない最悪の状態の中で市としては、市内の給油所3ヵ所と緊急的なガソリン等の提供についての約束を取り交わしました。それは災害対応車両及び命を守る方が使用する車両、そして人工透析が必要な方等の通院車両など、人命に直結する対応業務のみに限定し、給油券を交付しました。

決して防災指導員を軽視したわけではありませんので、ご理解願います。【防災安全課】

No.52

防災に関すること

意見・質問・要望等

各行政区における防災訓練において、AEDの訓練もしていると思うが、要請のある行政区に対してAEDの購入又はレンタルに対して、例えば半額を助成するなどの措置を講じられないか。いざ必要となった際に、公民館にあれば有事に迅速な対応ができる。【中島下区民会館】

当日の回答

要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局回答

現在、市内のAEDの設置箇所については、利用者の多い市民センター、各自治センター、小・中学校等の公共施設を主に設置されています。

行政区公民館については、常時開錠されている施設ではありませんが、AEDが設置されていれば、近くで心肺停止になった方に対して少しでも早い対応ができるのではないかと思います。

しかしながら、AED設置後の維持管理として、消耗品(パット、バッテリー等)については、3～5年程度の有効期限があり、定期的な交換が必要となります(交換には数万円かかる)。

また、心肺蘇生法が5年ごとに改正となるため、AEDの操作方法も変わることがあります。

以上のことから、AEDの購入またはレンタルに関して市から助成金等を支出することは考えておりません。

なお、個人向けの救命講習会は、毎月第4土曜日に仙南地域広域行政事務組合の3消防署(大河原・白石・角田)の持ち回りで実施しています。また、角田市内では、事業所、婦人防火クラブ等の団体から角田消防署に依頼があれば、実施しているようです。【健康推進課】

保育施設等への導入を含め、今後関係課と協議・調整していきたいと思っております。【子育て支援課】

No. 53

防犯に関すること

意見・質問・要望等

通学路の安全について、鳩原から北角田中学校まで約10km。他地域よりも防犯灯の整備をすべきだ。【東根自治センター】

当日の回答

平成27年、東根地区には約10基の防犯灯が設置されました。県の環境税等の補助もありますので、同じように設置されていくものと思いますが、通学路であれば、別の団体が毎年陳情をしているようですので、そちらから願いますのも一つの方法と思います。

当局回答

要望のあった約10kmの区間内の鳩原地区におきましては、昨年2基設置しております。その他の区間につきましては、要望書はまだ提出されておられませんので、必要な箇所については、行政区長又は地区振興協議会からの設置要望書を提出していただきたいと思いません。設置要望書の提出を受けた上で、設置場所の状況等を考慮し設置しております。限られた予算の範囲内で設置を進めておりますのでよろしく願います。【防災安全課】

No. 54

防犯に関すること

意見・質問・要望等

通学路の安全対策について、一本木町諏訪脇南線の沿線に、速度制限の標識がなく、スピードを出す車両が多い。平成16年までは速度制限の標識はあったが、現在は、撤去されている状態です。そこで、安全対策上、何とか設置を強く要望します。【桜自治センター】

当日の回答

要望として、担当課にお伝えします。

当局回答

この件につきましては、平成27年12月に桜6区から8区の行政区長から角田警察署交通課に要望があったと聞きました。速度制限の標識の設置については、公安委員会が判断することになっています【防災安全課】

No. 55

防犯に関すること

意見・質問・要望等

市で防犯灯の電気代はどれくらいなのか。もっと防犯灯がほしい。【東根自治センター】

当日の回答

現在1,480基ありますが、料金は分かりませんので調べます。

当局回答

平成26年度の電気料は、4,017,530円となっております。また、防犯灯設置につきましては、年次計画に基づき設置を進めていますのでご理解願います。
(角田市全域における平成28年度からの新規設置数は、毎年23基程度を予定しています。)

【防災安全課】